

人材育成セミナー

開催報告



令和3年(2021年)1月1日発行



まちの再発見に伴い、 新たなまちづくりの姿が見えてきた!

深まる秋を感じながら湯沢のまちを歩いてまちの宝物と小さな困りごとを探し、そこから発想したまちづくりのアイデアを具体的な計画にしていくトレーニングを一日かけて行いました。見慣れたまちも様々な視点を持って歩くと、今まで気づかなかったことが見えてくるようになります。そこがまちづくりのスタートラインになるのです。

開催日：令和2年10月25日(日)
会場：湯沢市役所2階会議室

〈当日のプログラム〉

- 9:00 オープニング
- 9:15 ゆるやかな関係づくりゲーム
- 9:35 講義「エリア型まちづくりにおける大切な2つの視点」
- 10:05 まちあるきガイド
- 10:20 チームの作戦会議
- 10:30 まちあるき(まちの資源調査)
- 14:00 会場に戻る～休憩
- 14:15 資源調査のまとめ作業
- 15:45 グループ発表
- 16:10 講座全体のふりかえり～クロージング
- 16:30 終了

セミナーでのスナップ



住民へのインタビュー風景



まちづくりに生かしたい風情ある町並み



ムラサキシキブがまちを彩っていました



グループ単位でまちの資源調査!



大堰の遊歩道はまちの大きな魅力



各グループでのまちあるき調査まとめ作業



グループの成果を発表

今年度の成果



東地区 1班

タイトル: 苔結 (こけむす)

【まちの宝物】 【まちの困りごと】

- ①街中の巨木 ①空家
- ②まちの駅 ②小路の除雪・排雪
- ③京野家 ③歴史的建造物の継承者

【まちづくりのアイデア】

- ①個の宝をみんなの宝に変える
- ②苔結まち ゆざわ

東地区 2班

タイトル: 湯沢の歴史 再発見

【まちの宝物】 【まちの困りごと】

- ①麗沢舎 ①通りに人がいない
- ②湯沢大堰 ②看板の字が薄い
- ③一里塚・保存樹 ③堀に統一感がない

【まちづくりのアイデア】

- ①小路と堰を組み合わせた遊歩道の整備
- ②歴史ある木製看板の設置

西地区 1班

タイトル: あるいてわかったゆざわ

【まちの宝物】 【まちの困りごと】

- ①菅総理グッズ ①人通りが少ない
- ②とみや ②空家
- ③挨拶してくれる若者 ③蜂の巣(危険)

【まちづくりのアイデア】

- ①若者の集合スペースの確保
- ②セミナー等に中高生を巻き込む
- ③まちあるきをするきっかけを作る

西地区 2班

タイトル: 400年の歴史と新しい湯沢の発見!

【まちの宝物】 【まちの困りごと】

- ①佐竹南家屋敷跡 ①日曜に空いている飲食店が少ない
- ②屋上の藤 ②人通りが少ない、空き地が多い
- ③犬っこ像の貼り紙 ③空きビルが多い

【まちづくりのアイデア】

- ①空きビル等を整理し、無料の駐車用を作る



湯沢市人材育成セミナーを終えて

大滝 聡 (講師)

これまでのまちづくりというと、地域のマイナス面(課題)を解決する視点だけで進めていくことが多かったように思います。もちろんその視点は重要ですが、地域にはプラス面(まちの宝物)を探してそれを磨いていくという視点も絶対的に必要です。

湯沢のまちは既に何度もまちあるきを行い、これまで多くの「まちの宝物」を発見してきましたが、今回もメンバーが代わるだけで新たな資源がたくさん見つかるということを再確認できました。

こうやって見つけたまちの宝物は、新たなまちづくりのアイデアに変換され、まちの可能性を大きく広げてくれます。こうした作業を今年もこのセミナーの中で5名のまちづくりコーディネーターの方々のご協力をいただきながら行いました。ご参加いただいた皆さんに感謝しています。

【お問い合わせ先】 湯沢市協働事業推進課

TEL 0183-55-8249 (直通)

Eメール: kyodo-gr@city.yuzawa.lg.jp

企画・編集 有限会社オム・クリエイション (湯沢市より受託)



5人のまちづくりコーディネーターのふりかえり

五十音順

阿部 幸樹さん



本セミナーでは2回目のまちあるき。見慣れた景色でも小さな発見がたくさんあって、去年とは違うメンバーと歩いて、皆さんの思いを合わせると大きな発見となる。これがまちあるきの醍醐味の1つだと思います。これがまちあるきの一歩外に出て普段見慣れた自分の周りを見渡してみてください。気付かなかった魅力に出会えるかもしれませんよ(笑)。

柿崎 清さん



本セミナーに参加させていただき3年目となり、昨年度と今年度はコーディネーターとして協力させていただきましたが、活動の中で参加者の皆様と十分にコミュニケーションをとれなかった等、その責務を十分に果たせなかったと反省しています。

本セミナーも5年目を迎えましたが、実施の目的であるまちづくりを指導アドバイスできる人材及びまちづくりコーディネーターの育成ということを考えた時、本セミナーを通して今後、幅広い人材の拡大とある程度の能力を持った人材の育成のどちらに重きを置いて実施すべきかを考える時期にきているのではないかと思います。

また、もっと若い人たち(高校1・2年生等含む)の参加を可能にし、若い視点で「湯沢の良さ」を再認識する機会としてもらうことも一方法ではないでしょうか。

佐藤 香代子さん



「まち歩き」の宣伝効果は抜群!グループで街中を移動していると、あちらこちらで視線を感じます。今度は視線を送っている人がまち歩きをする側になるのでは。参加者の「車から降りて歩いてみなければ見えないものが沢山ある。まちは歩いて発見するものなんだなあ。」の言葉に全てが詰まっているのではないのでしょうか。コーディネーターとしてのサポートも、回を重ねる度にスムーズに行えるようになりました。

菅 善徳さん



普段歩き慣れた「まち」は、隠れた資源も見逃しがちです。でも、いつもと違う誰かと歩く事で新たな発見があります。地域外の方や視点を変えて歩いてみるだけで不思議と違った「まち」に見えてきます。例えば子供目線で歩いてみたり、景観重視で歩いてみたり、路地裏の隠れた名所を探してみたりです。

何度も通っていたはずの「まち」に隠れていた魅力が次々と見えてきます。これもまた「まち歩き」の魅力と再認識した今回でした。

寺田 純二さん



普段何気なく歩いている場所も、視点を変えるとまだまだ地元にも隠れた資源があることに気づきました。

コーディネーターとして担当させていただいたグループの中に、湯沢市の隅から隅まで熟知された方がおり、街歩きをしながら「ここは由緒ある佐竹藩の住居の名残がある土手ですよ」と400年前からあったものを知ったこと、街中にある『犬っこ清水』に、同日の過去にあった出来事を毎日欠かさず手書きをして張り紙をしている方がいること等など、今回も新たな発見がありました。

地元の素晴らしさを後世に伝える人材が増えることにより魅力ある街並みになることを実感できました。